

台風10号の接近に伴う 園芸ハウスの被害防止対策の徹底について

令和元年8月13日
京都府農林水産部

台風10号が西日本に接近していることに伴い、今一度、「園芸ハウス台風対策マニュアル」によりパイプハウス被害の未然防止・軽減対策を徹底してください。

1 ハウス内への風の吹き込みを防止する！

- ①パッカーやスプリングを使ってビニール固定を補強し、隙間をしっかりとふさぐ。
- ②ハウスバンドをしっかりと締め直す。
- ③筋交いや浮き上がり防止のアンカーなどの補強資材が確実に取り付けられているか点検・補強する。

裏面のチェックリスト項目で点検

詳細については、園芸ハウス台風対策マニュアル<普及版>を参照してください
(<http://www.pref.kyoto.jp/nosan/news/engeihousetaisaku.html>)

2 ハウスの強度を超える暴風に備える！

- ①所有するハウスが耐えられる風速の目安を確認する。
- ②ハウスの耐風強度を超える暴風が予想される場合は、骨材を守り、被害を軽減するため、風が強くなる前に、ビニールの引き落とし、巻き上げ（アーチパイプの露出）を行う。

暴風警報発令時においては、ビニール切除も農業共済の対象となる場合があるので、ビニール切除を行う場合は、事前に最寄りの農業共済組合に連絡してください。

* 台風通過中は無理な作業を行わないでください。

問い合わせ：京都府京都乙訓農業改良普及センター

(電話：075-315-2906)

台風被害に備えるチェックリスト

台風接近前(2~1日前)に行っておくこと

チェック欄

作付けしていない場合は、ビニールを外す	
ビニールの破れ等の確認と修繕	
ハウス周囲の風に飛ばされ易いものは片付ける	
出入り口の戸車点検、レールの外れや傷みの修繕(強風で出入り口が開かないように)	
妻面の補強(「かんぬき」などの設置)	
風上側のハウスは浮き上がり防止のアンカーなどで補強する	
ビニペット(緩み、外れ、腐食)の点検	
ハウスバンドの締め直し	
ハウス周囲の排水対策	
妻部から2m程度の範囲に防風ネット(寒冷紗など)による補強	
灯油タンク、ガスボンベ等の固定、燃料バルブを閉じる	

台風接近時(直前)に行うこと

チェック欄

台風の進路・勢力などについて最新の情報を確認する(台風の進路の東側=右で被害大きい)	
出入り口を確認し、中に風が吹き込まないようにしっかりと固定(かんぬきなど)する	
サイドビニールの巻き上げをしっかりと下まで下ろす	
換気扇がある場合にはハウスを密閉し、換気扇を回してハウス内を負圧にする	
ハウスが倒壊する恐れのあるときは、ビニールを切断することを検討(風下側から切る)	
ビニールを切断する場合は、共済組合へあらかじめ連絡する	
やむなく作業を行う場合には、必ずヘルメット等を着用し安全を図る	
台風通過中は人的被害を避けるため無理な作業を行わない	